



めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

消防団協力事業所 インタビュー

従業員の皆さんが消防団に入団することは、事業所にとってさまざまなメリットがあります。今回は事業所の生の声をお聞きするため、消防団協力事業所であり、今年度、県知事から消防団関係優良事業所表彰を受賞されたスギ製菓(株)の代表取締役社長・杉浦敏夫氏にお話を伺いました。

Q 消防団について、どのようなイメージをお持ちですか。

A 地域の防災リーダーとして活躍していることは知っていましたが、あまり深く消防団の実情をわかっておらず、お酒を飲む機会が多いという印象がありました。

しかし、自分が7年程前に副分団長として入団してみると、イメージは一変しました。4月から始まる操法訓練は決して楽なものではありませんでしたが、約2か月の訓練で基本的な知識や行動を学ぶことができました。真剣にこの2か月に取り組むことによって、年齢の違う仲間とのチームワークやきずな、ネットワークを形成することができ、5年間の任期を経るなかで生涯の友ができました。

また、市消防団は任期が5年と決まっており、これは良い点だと思います。人員の選出には地区の皆さんにも大変苦勞をおかけしていますが、防災経験に長けた人間を地域へたくさん輩出できる間口として、非常に良いシステムだと思います。最初は嫌々であった団員も、任期を終えてみれば大半の団員が経験して良かったと言っています。なかに入って本質を見ると、そこから見たイメージには大きな差があります。

Q 御社が消防団員を積極的に輩出するようになったきっかけを教えてください。

A 私自身が入団する前にも従業員のなかに地区からの推薦を受け、消防団を経験した者がいましたが、会社として積極的に輩出するようになったきっかけは、自分自身が消防団を経験したことが一番大きいですね。社会に出てから、あれだけの規律を学ぶことができる場はなく、大変有意義な場です。これは消防団員としての側面だけではなく、人間的に大きく成長でき、仕事面でも大きな変化をもたらしてくれると感じています。

Q 従業員が消防団員として活動するにあたり、就業時間中であっても、有事の際には出動することもあります。どうお考えですか。

A 消防団員の任務ですので、協力していきたいと考えています。災害発生時に市外に出ている場合や、工場勤務ではすぐには職場を抜けられないなどの実情もありますが、できる限りの支援は行ってきたいです。



Q 消防団に在籍している従業員に対し、会社として支援していることはありますか。

A 訓練のある期間中は夜勤を免除し、災害出動時は職務を免除するなど、出動しやすい環境を作る努力をしています。また、地域のなかで活躍できる社員を育てたいという思いから、地域貢献を行っている意味合いで手当を支給しています。

Q 従業員が消防団員になり、変化などありましたか。

A 大きな成長を感じます。経験のなかで学んだ規律が身についており、あいさつ一つにしても以前と比べて変化があり、仕事に対してモチベーションと取り組むようになったと思います。

上司の意図をくみ取って、自分の役割を認識し、一生懸命取り組む姿勢が見られるようになりました。また、社内の防災訓練時には率先して周りの従業員を引っ張ってくれて、とても頼もしく感じます。

Q 消防団に求めることはありますか。

A 消防団の皆さんが一生懸命取り組まれていることは十分伝わっていますが、強いて言うならば、任期を終えたあとも勤め先や地域などで有事の際には活躍していただけたらと思います。自分自身もそうでなくてはならないと思います。

